

こんにちは! 日本共産党長野市議団です

2023年8月定例議会報告

発行／日本共産党長野市議員団
〒380-8512 長野市緑町1613
長野市役所内 日本共産党控室
TEL・FAX 026-266-7882
E-mail nsjcp@mx1.avis.ne.jp
HP <http://www.naganojcp.assrv.com/>



長野生活と健康を守る会から勇退するあべ議員、佐藤議員に花束が贈られました

税金は市民の暮らし最優先へ 何より子育て、教育、福祉の充実を

9月議会は8月3日から22日まで開会され、一般質問を滝沢しんいち、黒沢清一、佐藤くみ子、あべ孝二の各市議が行い、野々村ひろみ、竹内茂市議は常任委員会などで奮闘しました。

学校現場視察に市長前向き 答弁

小・中学校の校舎、体育館などの老朽化に伴って、学校現場から出されている要望と実態、改修の進捗状況について質問しました。教育次長は「学校からの要望の内容は、雨漏りの修繕、遊具の改修、樹木の剪定など多岐にわたっている。児童の安心・安全、快適な学校環境、重要度、緊急度といった観点から、優先順位をつけて判定して、改修につなげている」という回答にとどまりました。荻原市長に学校現場を直接見て、実情を把握すべきことを質しました。市長は「私も機会を見つけて、子どもたちの学びの状況、環境を把握し、改善すべきはしっかり改善していきたい」と答弁しました

児童相談所の設置に向け前 向きの検討を求める

党市議団は長野市独自の児童相談所の設置を繰り返し要求してきました

た。しかし長野市は「県中央児童相談所とさらなる緊密な相互連携により、協力体制が強化できる」「当面児童相談所の設置は予定していない」としてきました。7月、荻原市長と松本市の臥雲市長、阿部知事が懇談し、県が運営する児童相談所のうち、長野・松本両市の施設について、運営の移管を含めた検討を進める考えを述べたと報道があり、「できるだけ地域に身近な所でやってもうることが望ましい」とした知事の提案を受け、どう対応するのか伺いました。しかし、こども未来部長からは「県から具体的な話ががあればお聞きしていきたい」とあまりに消極的な答弁。独自に児童相談所を設置できる中核市として、積極的に子どもたちのSOSを受けられる体制作りが求められます。

正規雇用で子ども財団の充 実を

放課後こども総合プラン事業が指定管理の社会福祉協議会から、来年長野市子ども財団に移行されます。支援員の正規雇用とコーディネーターの全館配置を求めました。また、ニーズの高いお盆中の開館も今年か

ら3館行う予定ですが、正規職員がいままの状況で責任が問われます。答弁では、支援員の待遇改善には触れましたが、現在よりもよくなるかどうかについては明確な答えはありませんでした。また、現場ではコーディネーターの配置を求め現在18人専任がいるのに、廃止しました。引き続き子どもたちの放課後が充実されるよう求めていきます。

介護保険料の減免を求める

介護保険は生活保護世帯や収入の合計が80万円以下の世帯でも年額20410円の保険料となっています。全額減免することを求めました。保健福祉部長は「保険料全額の減免は国から、被保険者全体で支え合う共同連帯の理念という趣旨から適当でないと助言を受けている。低所得者に対する保険料の配慮は負担能力に応じた保険料額により対応すべき」と答弁しました。しかしすでに支払い能力がない人にも保険料が発生しています。市民に優しい答弁ではありません。現在市には254億円の財政調整基金と37億円の介護給付準備基金があります。さらなる負担軽減を求めました。

新友会、公明党2つの請願を否決、これで市民の代表と言えるのか？

	健康保険証の継続を求める意見書採択を求める請願	小中学校の給食費の無償化を求める請願
賛成	共産党 黒沢清一 滝沢真一 竹内茂 野々村博美 阿部孝二 佐藤久美子	共産党 黒沢清一 滝沢真一 竹内茂 野々村博美 阿部孝二 佐藤久美子
	改革ながの市民ネット 東方みゆき 鈴木洋一 倉野立人 塩入学 布目裕喜雄	改革ながの市民ネット 東方みゆき 鈴木洋一 倉野立人 塩入学 布目裕喜雄
	無所属 小林史子	無所属 小林史子
反対	新友会 西脇かおる 箱山正一 加藤英夫 青木敏明 桜井篤 和田一成 金沢敦志 手塚秀樹 北澤哲也 市川和彦 若林祥 松田光平 西沢利一 小泉栄正 宮崎治夫 小林義直 三井経光	新友会 西脇かおる 箱山正一 加藤英夫 青木敏明 桜井篤 和田一成 金沢敦志 手塚秀樹 北澤哲也 市川和彦 若林祥 松田光平 西沢利一 小泉栄正 宮崎治夫 小林義直 三井経光
	公明党 堀内伸悟 松井英雄 小林秀子 近藤満里	公明党 堀内伸悟 松井英雄 小林秀子 近藤満里

※無所属 小泉一真議員は欠席

健康保険証の継続を求める意見書採択を求める請願

請願者は長野県保険医協会
マイナ保険証で誤登録や情報漏洩などトラブルが相次ぎ、世論調査では7割を超える方が健康保険証廃止の延期・撤回を求めています。請願は誰もが安心して医療を受けられるよう、現在の健康保険証の存続を求めています

小中学校の給食費の無償化を求める請願

請願者は新日本婦人の会長野支部
物価が高騰する元、全国で482自治体が学校給食の無償化を行い、くらしを応援しています。請願では市に対し給食の無償化を求めるとともに、実現するまでに何らかの軽減策を検討し、一歩踏み出すことを求めています。

この九月議会を最後に勇退されるあべ議員さん、分け隔てなく優しく接してくれ、どれだけ多くの人の生活相談を受けたかわかりません。佐藤議員さん、常に市民に寄り添い苦

編集後記

傍聴席から感じた言葉の大切さ
健康保険証の継続や小中学校の給食費無償化を求める市民の請願を不採択とする委員長報告。その報告の討論に立つ共産党市議会。市民の立場に立った分かりやすい言葉で。市民の想いを言葉にして、反対討論というよりは、市民に希望を与える長野市を作りませんか、諭すような討論に傍聴席から拍手が起った。我が胸も熱くなった。次の議会傍聴が楽しみだ。(市民M)

境にたっても明るく元気に活動してこられました。改選にあたり、市会議員は市民の意見、要望を市議会に届けるのが役目です。政治は暮らしそのものです。私達の暮らしを守るために、願いを託せる議員を選ぶことは私たちの義務と考えます。(事務局 角井)



(団 長)
野々村ひろみ
●建設企業委員会
●公共交通対策調査研究特別委員会委員長
●議会運営委員会
●長野広域連合議会（総務福祉委員）



(副団長)
あべ孝二
●福祉環境委員会
●水道事業広域化調査研究特別委員会
●長野市都市内分権審議会
●農業委員



(副団長)
佐藤くみ子
●経済文教委員会
●災害対策等調査研究特別委員会
●議会報編集委員会



(幹事長)
黒沢清一
●総務委員会
●観光戦略調査研究特別委員会
●長野市都市内分権審議会
●千曲衛生施設組合議会



滝沢しんいち
●建設企業委員会委員長
●水道事業広域化調査研究特別委員会
●議会運営委員会副委員長



竹内茂
●経済文教委員会
●公共交通対策調査研究特別委員会
●長野広域連合議会（環境委員）
●長野都市計画審議会